

ぼくのノオト

⑩5 ゴリラくん教えて

サルはボスからにらまれると目をそらしてしまう。サルの社会では見つめる行為が威嚇を意味し、相手を攻撃することで優劣が決まり、食べ物も強者が占有する。

ところがゴリラにとって見つめることは、挨拶や遊びを誘う優しい視線で、小さなゴリラは大きいゴリラを見つめ、食物をねだることもある。争いが起こっても力で対決することはなく、第三者が介入し、勝者をつくらずに解決しようとする。そのゴリラ社会の傾向の中に、平等への強い志向性をもって進化してきた人類の道筋がみえる。

平等を基調とする社会のリーダーは、自らの集団を守るために、他者を力で制するのではなく、他者に同調し共に生きる姿勢が求められる。

暴力が物言う今の世界、『ゴリラの森で考える』（山極寿一著）…その必要性が人間にはありそうだ。



認定NPO法人 いわき放射能市民測定室

たらちねクリニック

院長 藤田 操

〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑町11-3 カネマンビル3階

Tel.0246-38-8031 診療科目 内科・小児科／診療時間 午前9時～12時・午後2時～5時(受付は30分前)／土・日・祝日休診